

「普請（ふしん）」とは、「普く請う（あまねくこう）」とも読み、「力を合わせて作業に従事すること」という意味が含まれています。市民に身近な「まち」に「普請」の輪を広げていきましょう。

ニイガタ

新潟駅周辺整備とBRT整備に関わる市民参加の取り組みを発信する広報紙

まちぶしんぶん

3号

平成25年1月23日発行

発行：新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議（略称：駅きかく会議）／BRT整備に関わる市民参加企画会議（略称：BRTきかく会議）

編集協力：特定非営利活動法人まちづくり学校／新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所・新交通推進課

～ふりかえり～

Q&A

特集

あらためて
新潟駅周辺整備事業と
BRT整備について
市民の疑問にお答えします！

新潟駅周辺整備に関するQ&A p.2-4
新交通・BRTに関するQ&A p.5-8

今、新潟市では2つの大きな都市整備プロジェクトが進行しています。新潟駅周辺整備事業と新公共交通システム・BRTの導入です。この2つのプロジェクトは、共に市民参加を行いながら進めています。「ニイガタまちぶしんぶん」は、2つのプロジェクトに関連して実施される市民参加の取り組みを発信する広報紙です。

2つの事業については、市のホームページなどを通じて詳しい情報が発信されています。しかし、こうした情報が市民のもとに届いているかどうかという点、残念ながらまだまだ・・・と言わざるを得ません。事実、市民の中には、断片的な情報で意見を述べているケースも見受けられます。

私たちは、2つの事業の市民参加において「事業の情報をきちんと伝達・理解してもらい、その上で意見を述べてもらうこと」がとても大切だと考えています。

そのため、新潟駅周辺整備における市民参加では、第1回ワークショップ（昨年10月7日開催）時に、参加者と設計者・市担当者との質疑応答を丁寧に行いました。また、新交通・BRT整備では、事業に関する市民の疑問・質問に対する市の回答を、Q&A形式でわかりやすくまとめたパネルを作成し、昨年11月25日に古町モール6でパネル展を開催しました。

今号は、2つの事業に関するQ&Aについて、あらためて特集でふりかえります。

駅前広場基本計画の全体像および 駅周辺整備事業全般に関するQ&A

第1回新潟駅万代広場を考えるワークショップにおいて、駅前広場基本計画の全体像と南口広場の整備内容等について、参加者と設計者・市担当課との質疑応答を行いました。その内容を、ご紹介します。

Q1 ハンディキャップ対応は？

A バリアフリー法に基づいて設計しています。

Q2 駅舎の万代口のみつき方（広場への出入口の位置）はどうなるのか？

A まだ、詳細は決まっています。JR側が行っている駅舎の設計内容に合わせて、今後協議していくことになると思っています。

Q3 駐輪場はどのようになるの？

A 在来線高架化終了後、高架下に整備することを計画しています。

Q4 新交通システム（BRT）の乗降場はどこになるのか？

A 基本計画検討時はBRTの導入が決まっていますが、

乗降場は南北通路（2つの駅前広場を結ぶ高架下のバス空間）を想定して設計しています。部分整備段階においては、現在検討している最中です。

Q5 米山と天神尾の2つの踏切はどうなるの？

A 越後線を高架化し、立体交差にすることで踏切を無くします。

Q6 万代広場基本設計の修正はどのくらい行われるのか？

A 全く最初から検討し直すことは不可能ですが、細部に関しては変更可能です。以前とは色々な面で状況が変化しているため、それらを勘案して対応していきたいと考えています。

Q7 市民・行政・JRとの連携についてはどうなっているのか？

A 市民・行政・JRとは、ワークショップや打合せの場を設けながら連携し、検討を進めています。

A JR側で設計を行っている最中です。

Q8 JRの駅舎の設計は決まっているのか？改札口の位置は？

A JRの駅舎の設計は決まっているのか？改札口の位置は？

Q9 南口広場にある旧バスロータリーは今後どうなるのか？

A 在来線高架化後に臨時バス等もビックカメラ側に集約し、跡地利用についても、民間活力の活用を視野に入れながら具体



化させる予定です。

Q 10 降雪時に使いやすい広場になるのか？

A 南口中央広場の歩道部分については融雪装置を設置するなどで対応しています。ペDESTリアンデッキが完成するとそれが屋根の機能を担うように設計しています。現時点では、強い風で大変な思いをしていると思いますが、将来的には風除けとなる建築物もできてくると思います。基本的には、広場は春から秋に楽しむという考え方で設計しています。

Q 11 事業の進捗状況が当初よりも遅れているのはどうしてか？

A 概ね20年間で駅周辺全体の整備を計画していましたが、連続立体交差事業における用地買収等に時間が掛かり、当初の予定よりも遅れています。

Q 12 東西の連絡通路は今後24時間通れるようになるのか？

A 現状では、西側連絡通路は24時間通行可能になっています

が、東側連絡通路については、0～4時は閉鎖しています。今後、24時間通行について、J&Rと協議していきたいと思っています。

Q 13 駅の高架化が何で6年も遅れるのか？

A 在来線を通常運行しながらの工事となるため、どうしても時間が掛かってしまいます。

Q 14 現在の南口広場のタクシーと自家用車の混雑具合・利便性についてどう考えているのか？

A 現在の混雑状況については、広場整備によって利便性が高まったこともあり、想定よりも1.5倍程度の利用台数となっていることが、原因だと考えています。

Q 15 同じ駅前広場を表と裏に作る意味があるのか？新潟の特徴をどう表現しているのか？

A 2つの広場は、それぞれ異なる性格を持たせて設計しています。万代広場は柳や水辺などの歴史・伝統の継承をイメージするオフィシャルな空間に。南口広場は街の若々しさ・未来をイメージしたカジュアルな空間になるように設計しました。これらの性格が、広場の色々な所から感じられるように反映しています。

Q 16 南口広場の照明が暗いが、その対策は？

A 現在は行っていない。今後は、定期的なパトロールなど

Q 17 南口広場での危険な行為(自転車)の乗り回し、スケボー利用等)に対する見回りの頻度は？

A 現在は行っていない。今後は、定期的なパトロールなど



の実施について検討したいと思
います。

Q 18 広場施設の清掃はどうなっ
ているのか？

A 民間業者に委託して行ってい
ます。

Q 19 屋台カーなどの許可はきちん
と全部出されているのか？

A 全て申請に基づき許可してい
ます。

Q 20 万代広場の部分整備を行った
場合、バスターミナルが足り
なくなるのではないかと？

A 現状のバスターミナルを除い
た限られたスペースの中で、支
障がないように現在検討し
ています。

Q 21 自家用車駐車場は必要か？

A 新潟市では、過度に自動車に
依存しなくても誰もが移動し
やすい交通環境の実現に向け
て、新たな交通システムの導
入などに取り組んでおります。
駐車場計画台数については自

動車から公共交通への転換や、

駐車場の機能分担（駅前広場
に設置する自家用車駐車場は、
あくまでも送迎のために来た
自家用車を一時的に停めるス
ペース）など総合的に考えて
いく必要があると思っています。

Q 22 万代広場の利用者数予測を
数値で知りたい。

A 現在の新潟駅の駅前広場利用
者数は万代と南口全体で約10
万人、万代側だけで約7万人

となつています。将来、万代

広場や高架下のバス空間が整
備され、回遊性や利便性が高
まることで、南口広場と一体
となり、駅前広場全体で利用
されると想定しています。

Q 23 市民参加を行うと、設計者の
意見がなかなか反映されない
ことになるのでは？

A そんなことはありません。市
民目線での意見を聞くことで、
設計者側も大変刺激を受けて

Q 24 万代広場整備について、設計
案のようなスペースが本当に
確保できるのか？

A 在来線の高架化が完了した時
には、現在の1番線ホーム付
近まで駅前広場のスペースが
広がります。そのスペースを
含めた設計案となっております。

ご意見などをお寄せ下さい。

市民参加の取り組みや過去のワークショップ
開催記録は、blog「新潟駅周辺整備・市民参
加の軌跡」をご覧ください。blogからもご意見
を募集しています。



<http://blog.canpan.info/eki-kikaku/>



※Bus Rapid Transit の略です。

新交通BRTに関するQ&A

Q&Aの回答については、新潟市からの説明を受けながらBRTきかく会議が独自に作成したものです。

Q1 そもそもBRTってなに？

A 今までとは大きく違う「バスによる公共交通システム」です。低床型の連節バスが、既存の道路上に設ける専用レーンを走ります。バス停ではなく風雨をしのげる上屋のあるBRT駅が整備され、次のバス発車時刻が電光表示されるなど、従来の路線バスから大きく進化した「次世代型バスシステム」です。

Q2 どうして新しい公共交通が必要なの？

A 将来を見据えると今から準備

する必要があるからです。「超高齢社会」「環境問題」などの大きな課題への対応が、今、私たちには求められています。

中でも、超高齢社会の到来により、車の運転ができなくなる方が増え、結果として移動が困難になる方が増えます。そのため、「公共交通と車の調和を図りながら、誰もが移動しやすい交通環境を今から整える」ことが重要です。

実際に困ってから対応したのでは遅い！将来への備えは「今から始めよう」という考えです。

Q3 総事業費30億円!? そんなにお金をかけるべきなの？

A 中長期的に見るとどうなんだろうね。確かに、総事業費約30億円というのは、非常に大きな投資です。これについての賛否はあると思います。

ただ、現在、公共交通を維持するために、新潟市は運行事業者に年間で数億円を補助しています。

● ずっと補助し続けるのか？
● 今、思い切って投資をして、将来も持続する公共交通体系につくりなおすのか？

新潟市では後者を選んだという事です。

Q4 今までのバスと何が違うの？

A 時間に正確で、一度に大勢が乗降でき、バス停ではなく「駅」が整備されます。車両は主に専用走行空間を走るため、正確な時刻で運行ができます。BRTの車両は2連節バスなので、一度に乗客を大量に輸送できます。駅を整備することで車両とホームとの隙間が少なくなり、車いすやベビーカーも楽に乗車できます。駅にはベンチや上屋を設置し、出発

時刻や到着を知らせる案内情報で、待ち時間をゆつたり快適に待つことができます。

時刻や到着を知らせる案内情報を充実させることで、待ち時間をゆつたり快適に待つことができます。

Q5 まちなかのバスは今のままでも十分に効率的では？

A いいえ。効率的な運行ではあ



BRTとは？（新潟市発行のパンフレットより）

新潟市のバスの現状は…

新潟市では、約7割の方が主な移動手段に自動車を使っており、公共交通利用者の減少傾向が続いています。その結果、郊外路線のなかには減便や廃止される路線も出てきています。この傾向がそのまま続くと、バスを利用できない公共交通「空白地域」の増加が懸念されます。

まちなかにも課題がたくさん!
バスが過剰に集中するまちなかでは、

- 多くのバス停が並び、複雑でわかりにくい。
- 乗客が少ないバスが回り運転し、効率が悪い。
- 乗換が不便。時間通り来ない。…

このまま何もしないと… (イメージ)

利用者が少ない路線は減便、廃止
サービスの低下
さらに利用者減少…
この悪循環が繰返される

公共交通体系を再構築して…

りません。実はバスがまちなかに過剰に集中し、しかも乗客の少ないバスが多く走っています。そのようなバスを効率的に再編することで、まちなかのバス路線をわかりやすくし、一方では郊外部のバス路線の廃止・減便に歯止めをかけるこ

新潟の交通をこう変える!

公共交通における、さまざまな課題を解決するほか、さらに質の高いサービスを提供し、将来にわたって持続していく公共交通を目指すため、新潟市も積極的に取り組みます。

料金システムを見直す!
全市的に利用しやすい料金体系を目指します。

現状料金
1日乗り放題券 etc.

郊外路線について…
バス路線をわかりやすく便利に!
バスの走行環境や、利用環境を改善するほか、増便などサービス向上を目指します。

都心アクセスとBRTとの連携では…
快適な乗継空間を整備!
スムーズに乗り継ぎできる施設や、快適な待合スペースなどを整備します。

まちなかでは…
便利で魅力的なシステムを整備!
走行性の確保や運行頻度、利便性を向上するだけでなく、洗練されたデザインにもこだわったBRTを導入します。

凡例 都心アクセス： 地域内の生活交通：

BRT 導入のねらい (新潟市発行のパンフレットより)

とが必要だと思えます。

BRTは、まちなかのためだけに整備するわけではないのです。

Q6 BRTの導入によって暮らしはどう変わりますか？

A まちなかでの公共交通による

移動が容易になります。例えば、

●時刻表を気にしなくてもよい運行頻度になります。

●現行より利用しやすい運賃体系になります。

●目的地により早く着きます。

●快適にゆったり乗れます。

●らくらく乗り降りできます。

●バスが間もなく到着することをお知らせします。

●郊外部のバス路線を含めた全市的な公共交通体系も再編するので、「本数が増える」「乗り換えで今まで行けなかった所へバスで行けるようになる」など、今までよりも公共交通機関が利用しやすくなります。

Q7 BRT導入によってまちなかの環境が悪化するのでは？

A かつて環境負荷が低減しました。BRTの導入により、まちなかを通行する路線バスの効率化を図るため、バスの通行量は全体的に今よりも少なくなります。BRTの車両自体

も、環境性能が非常に良くなっ

ています。まちなかにおいては、

トータルで見ると自動車による環境負荷は今よりも低減します。

まちなかのバスの総量を減らす。ここがBRT導入のポイントの1つです。

Q8 新潟交通(株)がBRTを運行するのは？

A 新潟交通(株)には、BRT運行計画の第一提案権が付与されています。平成24年9月から始まった委員会では市民からの意見も参考にしつつ審議が行われ、平成25年1月末に運行予定事業者としての適格性について、市長に審査結果が報告される予定です。

Q9 BRT導入によってバス路線はどうなりますか？

A 新しく再編されます。新潟市

では、約7割の方が主な移動手段に自動車を使っており、公共交通利用者の減少傾向が続いています。その結果、郊外路

線の中には減便や廃止される路線も出てきており、この傾向がそのまま続くと、バスを

利用できない公共交通の「空白地域」の増加が懸念されます。そのため、BRT導入により、都心部ではマイカー利用から公共交通利用への転換を促進させつつ、市全体でバス路線網を再編して、利用しやすい公共交通体系を構築することが重要です。

Q10 BRT導入によって郊外線は便利になりますか？

A トータルで見ると便利になります。BRTにつながる路線は乗り換えが生じる場合もあるので、今より不便さを感じる場面があるかもしれませんが、交通体系が新しく再編されることで、総合的には持続的なものとなり、便利になります。

「バスの本数が増える」「到着時刻が正確になる」「乗り換え

が容易にできる」などといったメリットが多くあります。

Q11 BRT導入によって運賃体系はどうなりますか？

A みんなで積極的にバスを利用するとともに、安くなるよう働きかけましょう。新潟交通(株)からは、乗り継ぎしても料金が上がらないことを目指す提案が提出されています。

私たち市民が利用しやすい料金体系になるよう市民の声を集め、関係機関にしっかりと届けるような働きかけがとても大切です。

Q12 BRT車両はわざわざ海外から取り寄せるという噂が…

A まだ決まっていますが、今、連節バスを製造している国内メーカーはありません。そのため、必然的に海外メーカーが製造している車両で検討されています。ただし、まだ海外

メーカーの車両を導入することが決まったわけではありません。日々刻々と状況は変化

していきますので、常に情報収集を行いながらどうするかを検討したいと新潟市では考えています。

連節バスを製造しているのは、今現在は海外メーカーしかありません。

Q13 BRT車両や駅のデザインはもう決まっていますか？

A 車両は魅力的なデザインの2連節低床バスです。乗ってみるとなる新潟の新しいシンボルになるはず。BRTの車両や駅を統一感のある洗練されたデザインになるように現在検討されているところです。案が固まり次第、公表される予定です。

Q14 BRTは雪道でも安全に走行できますか？

A 2連節バスは海外の積雪地域

(バンクーバー(カナダ)など)でも運行しています。冬季の雪対策については、融雪装置の設置などを含めて様々な方法が検討されています。

雪国新潟の冬でも安全に運行できるよう、整備にあたっては十分に検討されています。

Q15 BRT車両内でイベントは行えますか？

A できるように提案していきましょう！運行に関する詳細は、来年度以降に決定されます。私たち市民にとってより使いやすくなるよう、ぜひ声をあげて提案していきましょう。あなたならどんなことをしてみたいですか？

Q16 BRTは深夜運行しますか？

A まだ決まっていません。運行に関する詳細は、来年度以降に決定されます。ということは、まだ市民からの要望を関係機関に伝え、市民の意見を



反映させられる可能性がある
ということですが。私たち市民
にとつて、より使いやすくなる
よう、声をあげていきましょう。

**Q17 BRT導入に関する詳しい情
報はどこにあるの？**

A 新潟市のホームページに詳し
い情報が公開されています。

トップページ↓くらし・手続
き↓道路と交通↓都市交通↓
新たな交通システム
という順にクリックすると情
報を見ることが出来ます。

ホームページを見ることが出
来ない方は、次の場所でもパ
レット等が入手できます。

- 市政情報室
- 市役所本館1階(区民生活課の隣)
- 新交通推進課
- 市役所第1分館4階

<BRT きかか会議からのお知らせ>

BRT きかか会議では、BRT 導入に関す
る市民参加の場について、現在、企
画を検討しています。事業が現在進行
形で進んでいることもあって、実施の
内容やタイミングがなかなか難しく、
市担当課との調整が続いています。詳
細のお知らせにつきましては、今しば
しお待ち下さい。ご理解のほどよろし
くお願いいたします。

駅きかか会議からのお知らせ

ワークショップの開催スケジュールを変更します！

新潟駅万代広場を考えるワー
クショップですが、諸事情により第3
回目の開催日時を下記のように変
更します。

また、より市民の声を計画に反
映させるため、ワークショップの開
催回数を1回増やし、第4回目の
開催を3月下旬に予定しています。
詳しい日時については、後日、改
めてご案内いたします。

【第3回新潟駅万代広場を考えるワークショップ】

事前予告 ~~1/27 (日)~~



変更 **2/17 (日)**

13:30~16:30

会場：万代市民会館

定員：50名

第2回ワークショップでの検討結果を踏まえ、
「にぎわい空間等の拡大」「冬の風雪対策」に
ついて、設計者との対話を通じ、さらに踏み込
んだ議論を行うと共に、部分整備の基本的な考
え方についても意見交換を予定しています。

申込 住所・氏名・電話番号を添えて、以下へ
メールもしくはFAX・電話で2月14日
(木)までにお申し込み下さい。

【駅きかか会議事務局 (NPO 法人まちづくり学校)】
TEL. 025 (201) 9320
FAX. 025 (201) 9321
e-mail info@machikou.com

**平成24年度 第3回新潟駅万代広場を
考えるワークショップ**

第2回ワークショップにおいて
万代広場基本計画の大きな見直しテーマであった
「にぎわい空間等の拡大」「冬の風雪対策」について
設計者との対話を通じ、さらに踏み込んだ議論を行います。

**参加者
募集**

日時 **2月17日(日)**
午後1時30分~午後4時30分

会場 **万代市民会館・多目的ホール**
新潟市中央区万代町5-1 (新潟中央郵便局向)

定員 **50名**

市民参加の取り組み、第1回・2回ワークショップの開催記録は
blog「新潟駅周辺整備・市民参加の軌跡」をご覧ください。
blogでもご意見を募集しています。
URL: <http://blog.canpan.info/eki-kikaku/> (QRコード)

【申込方法】
2月14日(木)までに、住所・氏名・電話番号を記入し、メール・FAXで下記までお申込み下さい。(必着)

【申込・問合せ先】
新潟駅周辺整備に関する市民参加企画会議 (略称：駅きかか会議) 事務局：NPO 法人まちづくり学校
〒950-2002 新潟市西区青山 5-8-22 / tel. 025-201-9320 / fax. 025-201-9321 / e-mail. info@machikou.com

主催：新潟駅周辺整備に関する市民参加企画会議 (略称：駅きかか会議) 協力：新潟市新潟駅周辺整備事務所 / NPO 法人まちづくり学校

次号のまちぶしんぶんは、3月上旬発行予定です。

「ニイガタまちぶしんぶん」のバックナンバーは、以下
の駅きかか会議 / BRT きかか会議のブログからPDF
ファイルをダウンロードできます。

- 駅きかか会議 blog
<http://blog.canpan.info/eki-kikaku/>
- BRT きかか会議 blog
<http://blog.canpan.info/brt-kikaku/>